

真庭郡北部集約酪農指定地区に於ける 農乳衛生並びに自家用と殺実施状況について

実 態 報 告

A. 9月9日-10日の両日にわたり県衛生部統轄の下、県下食品衛生監視員28名を動員して実施せる蒜山酪農地帯の指導取締の結果その主要事項につき分析するに、その実態は次の通りである。

1. 搾乳所衛生に関して

今回実施の搾乳所衛生状態の指導監視は、地勢準備等の都合により中和村、八束村、川上村並びに湯原町二川地区を対象として実施した。

指導監視の結果は、第1表の通りであるが、採点内訳より考察するに各項目について、尚一層の指導と努力を要するものと考えられる。特に(3)牛乳の搾取取扱については、極めて不良のものであると、いわざるを得ない。

検査対象157件に対し、60点以上130件となり、82.8%を占めているが、採点方針、採点者の個人差等により考えて、大体に於て衛生状態良好なりと判断されるものは、81点以上の32件と看做され、20.4%の17数対照である。

第1表

項目	地区				合計	備考
	中和村	八束村	川上村	二湯川地区町		
搾乳所監視指導件数	19	48	53	73	157	衛生状態良好なるもの 32件 20.4%
採点内訳						
100 ~ 91点	0	0	0	2	2	
90 ~ 81点	0	9	12	9	30	
80 ~ 71点	3	18	26	12	59	
70 ~ 60点	6	15	9	9	39	
59点以下	10	6	6	5	27	
搾乳牛頭数	24	58	80	52	214	
搾乳日量(升)	87.5	204.9	371.0	162.8	826.2	

第1表を採点項目別にその成績を分類すれば第2表の通りである。

但し、成績は100点満点として配点を換算したものである。

第2表

項目	成績					備考
	100 ~ 91点	90 ~ 81点	80 ~ 71点	70 ~ 60点	59点以下	
1. 乳牛の衛生(20)	63	45	34	13	2	
2. 牛舎の状態(20)	36	24	30	25	42	
3. 牛乳の搾取取扱(35)	8	17	31	20	81	
4. 器具(25)	15	42	39	33	28	
合計(100)	2	30	59	39	27	

第2表の状態を地区別に分類すれば第3表の通りである。

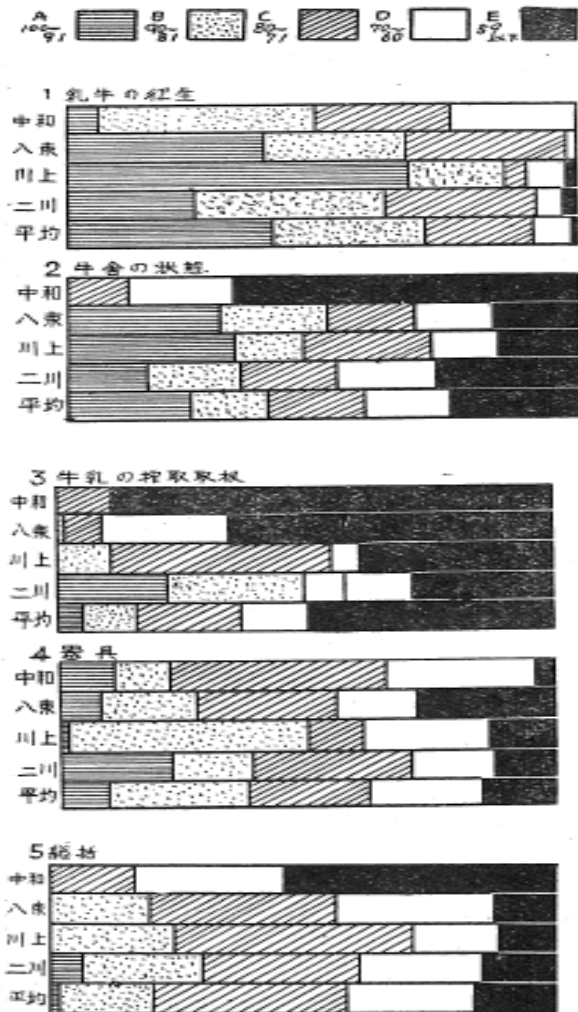
第3表

地区	項目	成績					備考
		100 ~ 91点	90 ~ 81点	80 ~ 71点	70 ~ 60点	59点以下	
中和村	1. 乳牛の衛生(20)	1	8	5	5	0	
	2. 牛舎の状態(20)	0	0	2	4	13	
	3. 牛乳の搾取取扱(35)	0	0	2	0	17	
	4. 器具(25)	2	2	8	6	1	
	合計(100)	0	0	3	6	10	
八束村	1. 乳牛の衛生(20)	18	13	16	1	0	
	2. 牛舎の状態(20)	14	10	8	7	9	
	3. 牛乳の搾取取扱(35)	0	1	3	12	32	
	4. 器具(25)	4	9	13	8	14	
	合計(100)	0	9	18	15	6	

川 上 村	1. 乳牛の衛生(20)	35	10	2	5	1
	2. 牛舎の状態(20)	17	7	13	7	9
	3. 牛乳の搾取取扱(35)	0	6	23	3	21
	4. 器具(25)	1	25	6	13	8
	合計(100)	0	12	26	9	6
湯 原 町 二 川 地 区	1. 乳牛の衛生(20)	9	14	11	2	1
	2. 牛舎の状態(20)	5	7	7	7	11
	3. 牛乳の搾取取扱(35)	8	10	3	5	11
	4. 器具(25)	8	6	12	6	5
	合計(100)	2	9	12	9	5

上記第1表より第3表までの状況を百分率にて比較対照すれば(第4表)その衛生管理の状態が地区により大きな差のあることが判明する。

第4表



上記第4表1-5の各表を考察すると、
 1. 乳牛の衛生は大体に良好である。
 2. 牛舎の状態は、中和村を除き、或る程度改善され

つつあるものと考えられる。中和村は旧来の和牛飼育当時の状態より脱却し得ず、特に注意を要する。

3. 牛乳の搾取取扱は全般的に不良である。ただ湯原町二川地区のみが、管理について、理解と良心を持っているものの如く考えられる。不良なる地区の中でも、特に中和村は極めて悪い。

4. 器具の取扱について見ると、未だ充分なる理解と知識を持って取扱っているものとは考えられない状態にある。

5. 総括すれば、中和村地区が特に悪く、残りの大部分、即ち八束、川上、湯原町二川の地区は大体同一状態にあるものと考えられる。が決して良好なりとは言えず、今後の指導如何によるものと考えられる。

2. 原乳セジメント、テストの成績について

農乳の取扱状況を知る最も簡易な方法として、セジメント・テストを実施した。実施区域は準備の都合上湯原町二川地区を除き、中和村、八束村、川上村の三ヶ村を対象とした。

実施結果は第5表に示す通りであるが、其の成績内容より考察するに、不良なるものが36%を占め、搾乳所指導監視結果中、牛乳の搾取取扱状況の成績と総体的には、大体正比例する状態にある。

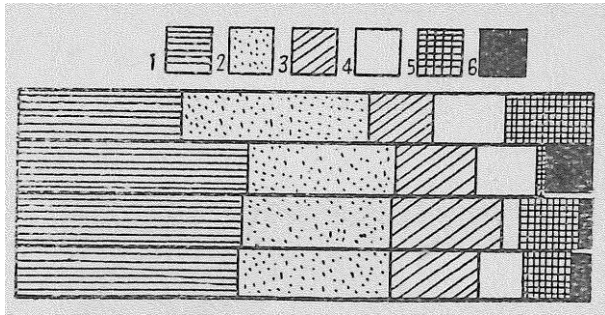
第5表を百分率にて地区的比較をすれば、第6表に示す如きグラフとなり、大体に於て各地共同様な状況を示している。

第6表によれば、各地区共、大体同様な状態を示しているが、これを小区分して集乳地区を単位として、その原乳取扱状況を比較検討すれば、第7表の通り集乳地区間では、相当の差異が認められる。

第5表

項目	地区	中和村	八束村	川上村	合計	考 備
原乳セジメント テスト件数		18	65	76	159	
検 査 内 容	1	5	26	29	60	
	2	6	16	19	41	
	3	2	9	14	25	
	4	2	8	3	13	
	5	3	1	9	13	
	6	0	5	2	7	

第6表



3. 原乳の規格検査成績について

県衛生研究所々員の応援を得て実施した原乳の規格検査の結果は第8表の通りである。

本検査の対象は個々の生産者のもの24件集乳地区にて合乳せるもの20件の計44件である。尚集乳系路の関係上、川上村内の笠木、間谷、栗住の3地区のものは除外せり。

1. 酸度測定について

大体良好なり、ただ個々の生産者のものの中から0.18%以上のものを2件検出しているが、これは今後注意を要する。

2. 細菌検査について

本検査は、直接固体鏡検法により算定検査をした。個々のもの24件中不適當なるものが 6件
合乳のもの20件中不適當なるものが 15件
計44件中2件の不適當なるものを検出している。

不適當のもの分布状況を考察するに、集乳車の配車系路及び集乳時間にはあまり関係なく全域に分布している。ここで考えなければならない点は、合乳缶の洗浄消毒並びに取扱と合乳時の取扱上に欠陥があるのではないかと推考される。但し当日の集乳時の天候は雨天であって集乳は野外に於て行なわれている点を充分考慮に入れる必要がある。

勿論生産者の取扱は第一義的なものであり、第1項搾乳所指導監視結果中、牛乳の搾取取扱の状況からして、細菌数の多いのは、不思議な事ではないが一応合乳缶の状態合乳時の取扱、場所等の状態についても、注意をする必要があるものと思考される。

第7表

町内区分	集乳地区	1	2	3	4	5	6	合計
中和村	別所	2	3	—	1	1	—	7
	吉田	1	1	—	—	—	—	2
	下和	2	2	2	1	—	—	7
	真加子	—	—	—	—	2	—	2
八束村	林原・宮田	2	7	4	3	1	1	18
	吉森	6	6	4	5	—	4	25
	中福田	18	3	1	—	—	—	22
川上村	中福田	2	—	—	—	—	—	2
	山根田	5	3	2	—	1	—	11
	延助	1	3	—	—	5	—	9
	上福田	7	7	7	1	3	2	27
	笠木	4	1	2	—	—	—	7
	間谷	9	2	1	1	—	—	13
	栗住	1	3	2	1	—	—	7
合計	14地区	60	41	25	13	13	7	159

第8表

項目	地区			合計	備考
	中和村	八束村	川上村		
酸度測定件数	2	31	11	44	検体44件は 個々のもの 24 合乳のもの 20 八束村0.18%以上2件 は個々のもの 直接個体鏡検法により 1cc中
内 0.18%以下	2	29	11	42	
容 0.18%以上	0	2	0	2	
細菌数検査件数	2	31	11	44	
内 400万以下	0	20	3	23	
容 400万以上	2	11	8	21	
比重測定件数	2	31	11	44	
内 1,028~1,034	2	30	11	43	
容 1,028以下	0	1	0	1	
1,034以上					